

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215~9
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月-1,500円 1ヶ年-18,000円]

1996年(平成8年)11月5日 No. 1039

目次

輸入品に圧迫されるロシアの家電メーカー.....坂口泉	1
一家電ミッションの成果を踏まえてー	
キーパーソン.....	9
ロシア地方選、一進一退の様相	
ロシアの対外経済銀行に新頭取	
カザフスタンで税務体制強化の新布陣	
統計速報.....	11
データフラッシュ	
1996年1~8月のロシアの経済実績	
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	11

輸入品に圧迫されるロシアの家電メーカー 一家電ミッションの成果を踏まえてー

はじめに 当会は、ロシアの家電メーカーおよび家電市場の実態を調査する目的で代表団を組織し、この9月末から10月初旬にかけ、モスクワ、サンクトペテルブルグ、ヴォロネジおよびリベックの各工場を訪問した。筆者もこの代表団に参加することができたので、その際に得た情報も交えながら、ロシアの家電市場の最新事情についてレポートすることにする。

なお、本レポートでは、紙面の都合もあり、テレビ、ビデオ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの市場についてのみ言及することとする。

テレビ市場 1994年頃までは国産のテレビもそれなりの健闘をみせていたが、1995年頃より劣勢が目立ち始め、このままいけば、市場から完全に姿を消す可能性すらでてきている(第1表参照)。なお、ロシアのテレビ市場の特殊性のひとつは、地方を中心にいまだに白黒テレビに対する需要が根強く残っていることである。以下に紹介するテレビの生産量には、白黒テレビも含まれることにご留意いただきたい。

国産テレビの減産傾向は今年に入っても続いており、1996年の上半期の生産量は前年同期比69%減の19万2,000台にすぎない(うち、カラーテレビは同74%減の5万6,800台)。たとえば、今